

公益社団法人 日本経営工学会
第 34 期第 2 回理事会議事録

日 時：平成 29 年 9 月 2 日（土）15:00～19:10

場 所：金沢工業大学大学院 虎ノ門キャンパス 1111 教室

出席者：（理事）石井和克，開沼泰隆，内田耕平，大久保寛基，中出康一，西岡久充，八木英一郎，西村泰一，中島健一

（監事）河野宏和，皆川健多郎

欠席者：（理事）外館晃，片岡隆之，辻村泰寛

議決事項

1. 第 34 期第 1 回理事会議事録の確認の件

庶務担当理事より，（資料：2-1）に基づき，第 34 期第 1 回理事会議事録（案）が提示され，全会一致で承認された。

2. 入会承認の件

会員担当理事より，（資料：2-2）に基づき，正会員 6 名，学生会員 21 名の入会申請が報告され，全会一致で承認された。あわせて，（資料：2-2）に基づき，平成 29 年度会員異動報告がなされた。

3. 国際渉外委員の委嘱の件

国際渉外担当理事より，（資料：2-3）に基づき，国際渉外委員に内田耕平氏を追加することが提案され，全会一致で承認された。

4. その他

なし

協議事項

1. 経営工学 3 団体連携活動 意見交換・顔合わせ会での内容について

内田副会長より，（資料：2-4）に基づき，過去に締結された「経営工学 3 団体連携事業に関する覚書」が示され，修正点等について意見聴取が行われた。「(事業の目的)」に「経営工学全体の学問と技術レベルの向上」の文言を加筆したり，「(連携事業)」の「経営工学ビジョン」を確認した上で，「経営工学ビジョンを受けた経営工学の実践に関する事業」や「経営工学そのものの連携事業」の項目を追記したりしてはどうかとの意見が出された。また，（資料：2-4，2-13）に基づき，各種委員会から提出された「新しい共同イベントの企画案」も提示された。これらの意見や資料をもとに，9 月 8 日（金）の意見交換・顔合わせ会にて，今後 3 団体連携活動の相互理解を深めるとともに，具体的な活動内容や新しい連携の視点等を含めた方向性を模索していくことが確認された。

なお，技術士会の CPD 制度に関して，JIMA としての CPD 制度作成も含めた支援・協力に向けて検討を進めることが確認された。また，生産管理用語辞典の改訂を検討する場合は，5 年ごとに行われる JIS の改訂作業と関連させることによって，JIMA の社会貢献性が向上するのではないかという石井会長からの要望があった。

2. 入会申請書フォーマットへの追加事項案

会員担当理事より、(資料：2-5)に基づき、入会申請フォーマットへの追加事項案が説明された。「入会の要因(きっかけ)」は各種委員会等での取り組みの効果を測る一つの指標になることから、入会申請フォーマットへ「入会の要因」を追加し、A4用紙1枚に収めることができるような案を次回理事会以降に提示することとなった。また、会員資格喪失者(会費未払者)に対する連絡方法を郵送以外で行う方策について、今後会員委員会で検討することとなった。

3. 規程類の改訂スケジュールについて

庶務担当理事より、(資料：2-6)に基づき、規程類の改訂スケジュール案が示され、各種委員会への規程類の検討依頼がなされた。規程類の改訂は各種委員会業務を再確認することにもつながるため、並行して各種委員会の事業や予算等を含めた業務の見直しを検討するよう石井会長より要請があった。また業務の見直しに関して、前期からの申し送り事項として、会費関係の見直しと学会の本来の在り方に結び付いた収入増が挙げられ、財務委員会にて財務状況改善案を策定し、今期及び来期の事業計画・目標を明確にした上で関連委員会にて検討を進めることとなった。

4. 2017年度秋季大会について

大会担当理事より、(資料：2-7, 2-14)に基づき、2017年秋季大会についての報告がなされた。ネットワークング費について、これまで30万円の予算で実施してきたが、会場の関係で2017年秋季大会は40万円の予算とすることが提案され、全会一致で承認された。併せて収入増を目指し、企業展示や予稿集の広告掲載について、締め切り期日まで依頼を継続することも確認された。

また、石井会長より第4回EAWIEの開催について、KIIE側から11月4日に年次大会が予定されているため、参加が困難であるとの連絡があった旨の報告がなされた。それを受けて関係理事間で協議した結果、既に準備を進めており、公示をしていることも考慮し、規模を縮小してEAWIEを開催することになったとの説明がなされた。その後、開沼副会長より、(資料：2-15)に基づき、EAWIEについての発表件数等が報告された。

なお同時開催予定のFMESシンポジウムの詳細は未定であるため、FMESシンポジウム委員会にて決定次第、理事会のメーリングリストで報告されるとともに、共同開催の日本IE協会側にも連絡することが確認された。

5. 今後の大会運営について

大会担当理事より、(資料：2-14)に基づき、今後の大会運営についての説明がなされた。2018年春季大会について、2018年5月25日(金)・26日(土)に名古屋工業大学で開催されること、及び2019年春季大会については3月に開催することが全会一致で承認された。ただし、2019年以降の大会運営については、2019年秋季大会も含めて全体の枠組みを検討する必要があるとして継続審議となった。また、2018年度秋季大会や予稿集の完全電子化の検討なども継続審議となった。

6. 「2017日本IE協会年次大会」分科会での講演について

人材育成担当理事より、(資料：2-8)に基づき、「2017日本IE協会年次大会」分科会での講演に際して、JIMAの目的と概要、組織、研究部門と名称、研究プロジェクト一覧を示すことが報告され、その内容を確認してほしいとの依頼があった。活動については修正が指摘されが、その他については修正の指摘はなかった。

7. 財務について

財務担当理事より、(資料：2-16)に基づき、第1回財務委員会で検討された事項について報告がなされた。第一四半期及び第二四半期の収支実績報告を次回理事会にて行うことが説明され、10月20日(金)までに実績報告を提出するよう各理事に依頼があった。併せて間接経費及び会議費の削減の協力依頼も行われた。

また、支出承認プロセスを簡略化するために、第31期で使用していたシステムを利用することが提案され、手続きのルール化を行った上でシステムを運用することが全会一致で承認された。

さらに、会員管理システム(マイページ)について、現状どのくらいの費用が掛かっており、どのような使用がなされているかの実態が不明であることから、後日、庶務担当理事が事務局に確認を行うこととなった。会員管理システムの有効利用、会員情報の活用等の検討も含め、継続的に今年度の財務状況の分析・改善提案、さらに来年度の予算案の議論を進めることとなった。

8. その他

なし

報告事項

1. 会員担当理事より、(資料：2-2)に基づき、退会についての報告がなされた。
2. 会員担当理事より、(資料：2-9)に基づき、経営工学会が置かれている現状と活性化の検討についての報告がなされた。
3. 研究担当理事より、(資料：2-10)に基づき、2018年度研究プロジェクト募集案内についての報告がなされた。
4. 人材育成担当理事より、(資料：2-8)に基づき、実践教育プログラム(実践教育現場研修)参加者募集についての報告がなされた。
5. 人材育成担当理事より、(資料：2-8)に基づき、ユニコインターナショナル(株)からの依頼の件についての報告がなされた。
6. 庶務担当理事(論文誌編集担当理事代理)より、(資料：2-11)に基づき、掲載料・別冊代請求一覧についての報告がなされた。
7. 石井会長より、(資料：2-12)に基づき、KIIEおよびCIIEとの覚書(MoU)締結準備状況についての報告がなされた。
8. 石井会長より、(資料：2-12)に基づき、経営工学3団体連携活動の3団体顔合わせについての報告がなされた。
9. 代表理事より業務執行状況について報告がなされた。まず石井会長から(資料：2-17)に基づき報告がなされた。開沼副会長からは、第一四半期の予算執行状況を調査するために、各種委員会、研究部門、研究プロジェクト、支部に対して執行状況の報告依頼を行い、現在その集約作業中であること、今年度の財務状況改善に向けた提言の検討を進めている旨の報告がなされた。内田副会長からは、第34期会員委員会の活動計画の策定、入会のお誘いパンフレットの作成、会員に関わる事務局からの問い合わせ対応等の会員関連業務、経営工学3団体連携の意見交換・顔合わせ会に向けた調整を行っている旨の報告がなされた。

10. その他

- 庶務担当理事より、理事会交通費の支給方法について、振込手数料の削減を目的として近距離の場合は半期に一回の支給になることが説明された。遠距離（特急利用）の場合は毎回の支給となることも説明された。
- 庶務担当理事より、理事会にオブザーバーを招聘する際は、遅くとも理事会の2週間前までに事務局及び庶務担当理事に連絡し、場合によっては理事会の承認を得る方針が示された。

※次回第34期第3回理事会は、平成29年11月3日（金） 18:00～21:00、パシフィコ横浜 423室にて開催する。

議 長 石井 和克 印

議事録署名人 河野 宏和 印

議事録署名人 皆川 健多郎 印